

# 貨物列車が脱線、衝突

ついに大事故が発生した。十九日午前二時四十分ごろ、上越線渋川―敷島駅間で高岡発小名木行き貨物列車が走行中に後部連結器がはずれ、貨車が置き去りになり、このうち二両が脱線。その四十分後、脱線した貨車に下り貨物が衝突、LPGなどを満載した貨物が脱線・転覆した。JR東日本は、置き去りになった「貨車が脱線したのはわからなかった」

などという全くふざけたコメントをしている。列車指令が上り列車のこんな異常事態にも関わらず、衝突した下り列車に「気を付けて行ってくれ」との連絡を無線連絡を行っている。

起こるべくして起きた事故なのだ。この間、高崎支社では、東北線のホームライナーの乗務員がやりくり出来なくなり、一度も東北線を運転したことのない。

い乗務員を使い、そのホームライナーを運行させ、吾妻線では、バンタグラフの故障を架線が生きたままで修理させるなどの運転保安無視が強行されている。

当局は、直ちに運転保安無視、組合つぶしの政策を改め、労働者の怒りを聞け！反合・運転保安確立、明日は我が身だ。京葉線、「六四・三」大合理化を許すな。スト体制を！十・二三三里塚へ！

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

スト体制確立！

10.23 三里塚へ！

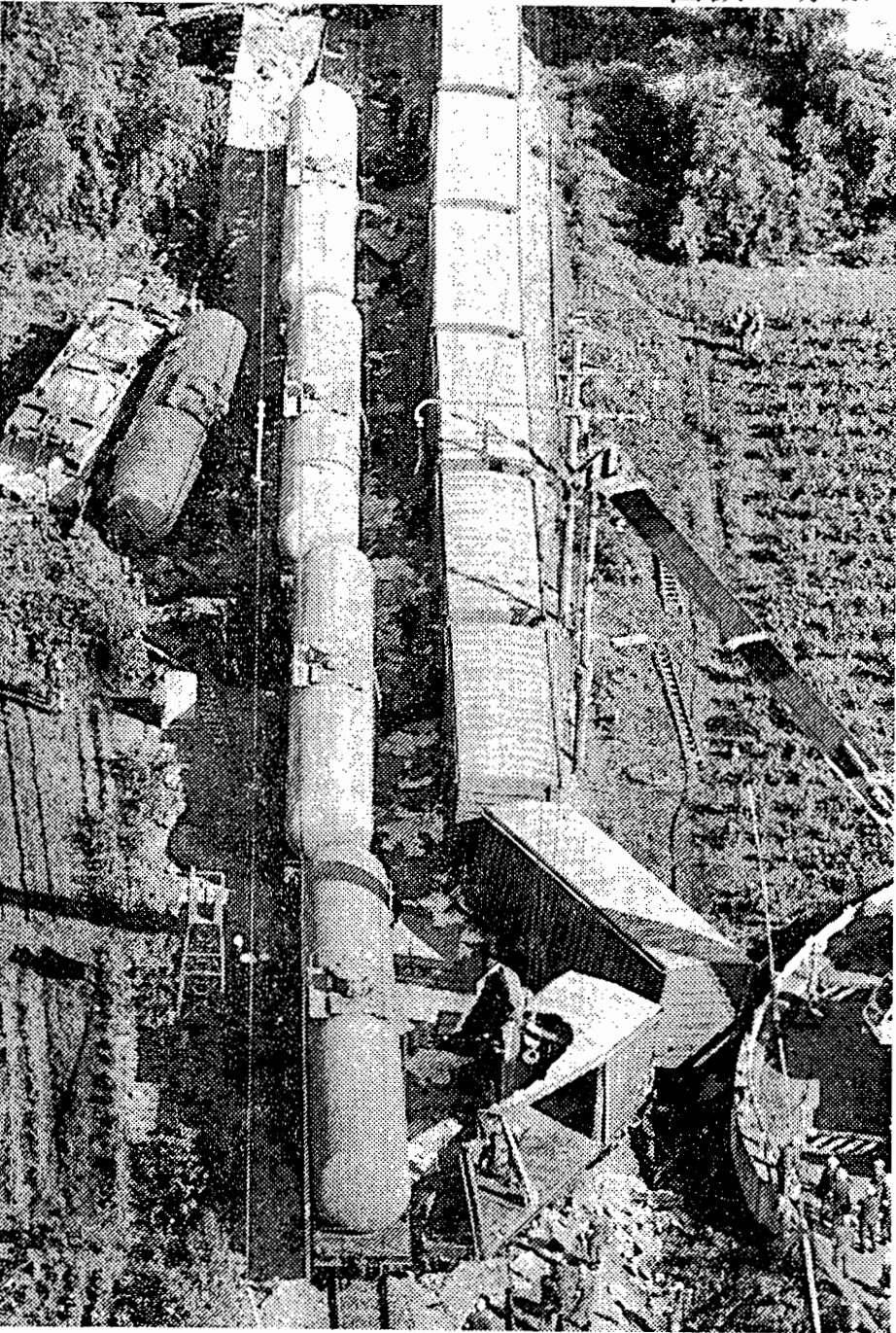
10/19 朝(夕)

## 上越線 不通に LPG 満載 あわや

十九日午前二時四十分ごろ、群馬県勢多郡赤城村宮田のJR上越線渋川―敷島駅間で、高岡（富山県）発小名木（東京都江東区）行き貨物列車三十三両編成、中谷正運転士（中谷）が走行中に後部十一両の連結器がはずれて分離、このうち前二両が脱線し、下り線路にはみ出た。約四十分後の同三時二十分ごろ、下の塩浜操車場（川）で乗客を代替輸送、列車は高崎市 発中条（新潟県）行き貨物列車十九両編成、大林運転士（中谷）が脱線した貨車に衝突、機関車を含めて前十四両が脱線、一部が線路わきの約八尺下の畑に転落した。大林運転士らにはけがはなく、付近の民家などにも影響はなかった。

同線は渋川―水上駅間が上下線とも不通になり、両駅間はバスで乗客を代替輸送、列車は高崎市 発中条（新潟県）行き貨物列車十九両編成、大林運転士（中谷）が脱線した貨車に衝突、機関車を含めて前十四両が脱線、一部が線路わきの約八尺下の畑に転落した。大林運転士らにはけがはなく、付近の民家などにも影響はなかった。

上越線は、JR敷島駅から



貨物列車が衝突、脱線・転覆した上越線の事故現場（午前9時40分、本社ヘリから）

10/19 ヨミウリ (夕) ↑

上り列車の連結器が外れたことについて、JR貨物は、「貨物列車の車軸が折れたため脱線し、外れたのではないかと」している。同社によると、車軸の折損は重大事故に直結するため、超音波探傷装置でのチェックに努めており、今回の上り列車も今年十二月に富山機関区で「全検」と呼ぶオーバーホールを実施したばかりだった。

上りから下り事故伝わらず？ JR貨物とJR東日本の説明によると、衝突した双方の列車にはATS（自動列車停止装置）が備えてあった。故障などが起きた場合は、列車の乗務員が通信指令室に無線連絡、指令室から後続の列車に警報を伝達、それでも後続列車が停止しない場合は、自動的にストップさせる仕組み。ところが、「今回の事故では、上り線の脱線車両が下り線側にはみ出したものの、線路に完全にはからなかったため、警報は上りには流れても、下り列車には伝わらなかったのではないか」（JR貨物）とみている。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！